

岡大アラムナイだより



令和 2 年 11 月発行 第 25 号

Alumni の動き

◆令和 2 年度第 2 回岡山大学 Alumni (全学同窓会) 理事会を開催しました【令和 2 年 10 月 16 日】



理事会の様子

本年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、5月に第1回岡山大学 Alumni (全学同窓会) 理事会を議題を精選してメール会議で行い、10月16日(金)、第2回岡山大学 Alumni (全学同窓会) 理事会を第一会議室(オンライン併用)で開催しました。理事会では、榎野学長より Alumni からの新型コロナウイルス感染症に伴う緊急学生支援へのお礼と大学の状況についての報告から始まり、令和2年度予算(案)、令和3年度事業計画(案)、役員の変更、Alumni 総会等について審議が行われ、ウィズコロナの時代に予め計画することが困難であった課題に対応するための

支援枠を新設することなど活発な意見交換があった後、承認されました。また、Alumni 活動におけるデジタル化の推進について提案があり、広報物の電子化等を順次実行していくことを確認しました。

https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/topics/news1_20201016.html

◆第 8 回岡山大学 Alumni (全学同窓会) 総会の開催について【令和 2 年 10 月 17 日】

岡山大学 Alumni (全学同窓会) の第 8 回総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、HP 上での資料掲載をもって開催とかえさせていただくこととなりました。ぜひ、ホームページをご覧ください。https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/topics/news1_20201017.html

岡山大学の動き

◆鹿田会館(旧生化学棟)講堂の竣工式を実施

今年度創立 150 周年を迎えた岡山大学医学部の記念事業の一環として進めていた、鹿田会館(旧生化学棟)講堂の改修工事が完了し、9月14日に竣工式を行いました。

この度の改修工事により、179席の最新チェアを設置、椅子を追加することで約230人の収容が可能となります。また、最新の高精度レクチャーシステムを導入した一方で黒板と黒板枠などの一部は以前のものを残し、最新鋭の講堂にありながら、歴史と伝統との融合を図る講堂にリニューアルされました。



最新設備の講堂

新型コロナウイルス感染症の影響で、記念式典など多くの事業が延期され、本式典も関係者のみの開催となりました。浅沼幹人医学部長は、「隣接する Junko Fukutake ホールとの連携運用を実施し、岡山からの情報発信、地域連携の機能強化に期待している」とあいさつしました。また、ご寄付いただきました多くの皆様に対する謝辞も述べました。

竣工式の後、こけら落としとして医学系会議を同講堂で開催し、新講堂の運用を開始しました。

鹿田会館(旧生化学棟)は、第二代学長の清水多榮先生のご多大なるご尽力により、1932年に竣工した旧岡山医科大学時代の歴史的建造物です。https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9641.html

◆第 3 回金光賞授賞式を開催

本学は 10 月 16 日、研究や国際活動等で顕著な成果を挙げた学生に贈る「金光賞」の第 3 回授賞式を行いました。授賞式は例年 4 月の入学式の日で開催していますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により入学式が中止となったため、時期を変更し、規模を縮小して開催しました。

授賞式では、受賞者 21 人の中から代表 2 人が出席。榎野博史学長が 2 人に表彰状と顕彰金目録を授与しました。榎野学長は「今回の受賞を機に、いっそう学業や研究等に励み、岡山大学の学生として、これからはますます活躍されることを期待しています」とあいさつ。小長啓一 Alumni (全学同窓会) 会長は「このたびの受賞は、皆様の平素からのたゆまぬ努力と研究の賜物と思います。これからは岡山大学を引っ張っていく人材として、先頭に立って頑張ってください」と祝辞を述べました。



小長会長 受賞学生 榎野学長 高橋理事

※金光賞は、本学 2 期卒業生で篤志家の金光富男様のご厚志によるご寄付に基づき、大学院生および学部学生に授与する賞。大学院生は、主に博士課程・博士後期課程に在学中の学生で、顕著な研究業績などを上げた者を対象とし、学部学生は、当該年度の 4 月時点で 4 年生の学生で留学などの国際的な活動に優れ、学業優秀な者を対象とする。各研究科・学部から 1 名を顕彰。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9717.html

◆岡山大学の学生が大原美術館と SNS マーケティングについて学び、企画を立案

岡山大学経済学部西田ゼミとグローバル・ディスカバリー・プログラム青尾ゼミでは、4 月から 7 月にかけて、西田＝青尾合同ゼミとして、倉敷の美観地区にある（公財）大原美術館のデジタル・マーケティングについて学ぶ活動を行いました。

新型コロナウイルス流行下にあって閉鎖も余儀なくされた大原美術館が、SNS 等の新たなメディアを通じてどのような情報発信を行い、それによって新たな支持者を獲得していくかということがテーマ。新型コロナウイルスの流行によりオンラインでのゼミとなったものの、大原美術館の大原あかね理事長ほか多数の美術館職員の方々にもオンラインにより参加をいただき、学生が社会人とともに学ぶ貴重な機会となりました。学生は自らの企画について、ゼミでの議論や美術館訪問の機会を通じて、実際に美術館で実施する際の注意点などを職員の皆様から学びつつ、磨きをかけました。

9 月 30 日には、合同報告会を開催し、新型コロナウイルス感染対策を取る中で、大原理事長のご出席のもと、6 人の学生が大原美術館の SNS マーケティング企画を発表しました。報告会では、大原美術館より、グローバル・ディスカバリー・プログラム 3 年森菜摘さんの企画『大原フォトジェニック美術館』を今年度中に実施する方向で検討したいとの発言があり、今後は学生の有志が大原美術館と一緒に企画の実現に取り組んでいくこととなりました。森さんからは「学生のうちに美術館職員の方々と一緒に SNS マーケティング案を企画することは滅多にない機会であると思います。私の企画は、若者間で流行している「SNS 映え」を取り入れることで、比較的美術館を訪れる機会が少ない若者世代にも来館者層を広げることが目標としています。今後、本企画をより良いものにしていきたいです」とコメントしています。

大原美術館業務推進課アシスタントマネージャー岡崎翔太氏は、「提出された企画書はどれも個性がしっかりと表れており、とても魅力的なものでした。大原美術館について当事者意識を持って、熟考されたことが伺えました。」と話しています。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9698.html



理事会の様子



閉館中の大原美術館で大原理事長のお話を伺うゼミ生たち（感染防止の対策を講じた上、調査活動の一環として入館）

【発行元】

岡山大学 Alumni (全学同窓会) 事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目 1 番 1 号 (岡山大学 総務・企画部 総務課内)

Tel: 086-251-7019 Email: ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp (◎は@に置き換えてください。)

Alumni ホームページ: <https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/>

